

# I. 山口赤十字病院看護部教育

## 1. 看護部の理念

- 1) 患者・家族の皆様の生活の質（QOL）向上を目指した看護を提供します。
- 2) チーム医療を推進し、時代の変化に対応した質の高い看護を実践します。
- 3) 地域の皆様が安心して医療が受けられるよう、看護職一人ひとりが自己研鑽に努めます。

## 2. 教育目的

赤十字の理念に基づき、地域の人々のニーズを満たす質の高い看護サービスを提供できる看護職員を育成する。

## 3. 院内教育の方針

- 1) 臨床看護実践能力の向上
- 2) 看護倫理教育
- 3) 教育・指導能力の育成
- 4) 看護管理能力の育成
- 5) 救護員としての赤十字看護師育成

## 4. 教育目標

- 1) 病院・看護部の理念を実践できる人材を育成する。
- 2) 理論に裏づけられた、科学的根拠に基づく看護を実践できる能力を育成する。
- 3) 受け持ち看護師として看護に責任を持ち、主体的に看護実践できる能力を育成する。
- 4) 看護サービスの質向上のために、教育・研究できる能力を育成する。
- 5) 看護専門職として、個人の責任において自己啓発に努めるとともに、倫理的配慮のできる人材を育成する。
- 6) 赤十字看護師として、災害時の救護活動ができる能力を修得する。

平成 15 年 4 月 1 日作成

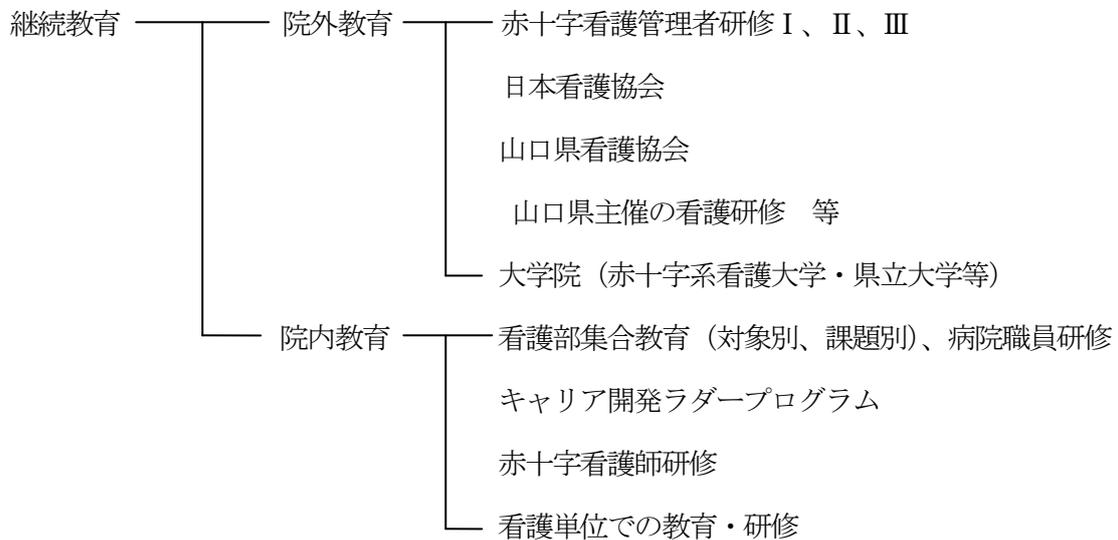
平成 22 年 4 月 1 日改訂

## 5. 看護部継続教育

### 1) 継続教育とは (構想概念の定義)

看護における継続教育とは、看護の専門職として常に最善のケアを提供するために必要な知識、技術、態度の向上を促すための学習を支援する活動である。継続教育は、看護基礎教育での学習を基盤とし、体系的に計画された学習や個人が自律的に積み重ねる学習、研究活動を通じた学習などさまざまな形態をとる学習を支援するように計画されるものである。

(2012. 日本看護協会)



### 2) キャリア開発とは

看護職のキャリア開発とは、個々の看護職者が社会のニーズや各個人の能力および生活(ライフサイクル)に応じてキャリアをデザインし、自己の責任でその目標達成に必要な能力の向上に取り組む事である。また、一定の組織の中でキャリアを発達させようとする場合は、その組織の目標を踏まえたキャリアデザインとなり、組織はその取り組みを支援するものである。

(2012. 日本看護協会)

6. キャリア開発ラダー導入の目的（平成18年4月より）

- 1) 赤十字の理念に基づいた「赤十字の看護師の看護実践能力」の到達目標をレベル別に明示し、その到達を目指すことにより、質の高い看護や医療を提供でき、また赤十字事業の推進者となる看護師の育成を図る。
- 2) 新人の時期から生涯にわたり、継続的に自己研鑽を積むことができる研修支援体制も含めたしくみの導入により、看護師の能力開発の動機付けを促進し、職務満足を向上する。
- 3) キャリア開発の一環として各赤十字医療施設間の人事交流を促進することにより、赤十字の看護師の質の向上を図る。

7. 赤十字施設の看護職者キャリア開発ラダー全体構造

		看護実践者	看護管理者	国際活動要員
到達目標を達成するための教育研修	大学院等	V	病院単位で活動できる者	国際V
	日本看護協会認定看護師教育 専門領域研修等	IV	看護部単位で活動できる者 新人の研修責任者	国際IV 国際III-2
	リーダーシップ研修 実習指導者研修等	III	部署単位で活動できる者(リーダーシップ) 部署の教育担当者 臨床実習指導者 救護班登録者	国際III-1 国際II
	新人指導研修 フィジカルアセスメント等	II	自立して看護活動ができる者(部署内) 実地指導者	国際I
	看護記録研修 看護技術演習等	I	指導者助言を得ながら看護活動ができる者	